

研究課題名「黄斑上膜の有無が糖尿病黄斑浮腫治療に対する抗 VEGF 薬の効果に与える影響」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年3月1日から2018年8月31日までに当院で糖尿病黄斑浮腫と診断され、抗 VEGF 薬の硝子体投与による治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

当施設において抗 VEGF 薬の硝子体内投与による治療を受けている糖尿病黄斑浮腫を有する患者さんにおいて、黄斑上膜の有無が視力や網膜の厚みなどに与える影響を調べ、報告することを目的とし、当院カルテより2014年3月1日から2018年8月31日までに行われた糖尿病黄斑浮腫に対し抗 VEGF 薬の硝子体投与による治療を受けた当院の症例（約50眼）のデータを取り出して図表にまとめ、受診時の検査所見や治療経過と網膜形態の変化の関連を分析する。データをまとめる際には名前、住所、生年月日などは用いず、資料は匿名化する。本研究において利益相反は発生しない。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 性別、年齢、視力、視野、屈折、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、眼底写真、蛍光眼底造影、細隙灯顕微鏡検査、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴、使用薬剤、同薬剤投与回数 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科眼科学 南波 里奈

052-744-2275

名古屋市昭和区鶴舞町65

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子 裕規